

平成28年度「GKP広報大賞」エントリーシート

エントリーする団体名の名称 北九州市	担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】 上下水道局海外事業課 伊藤智則
代表者氏名 上下水道局長 諫山修	電話：093-582-2012, FAX：093-582-2088 Email：tomonori_itou01@city.kitakyushu.lg.jp
(他薦の場合) 上記団体を推薦する団体の名称	担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】

部門名 (2) 広報部門 ① 行政広報部門	事例名：日明浄化センター管理棟（ビジターセンター）を活用した 下水道技術のPR
--------------------------	--

例の概要（適宜、写真、図、記事の画像等を挿入して下さい）

【ビジターセンター整備の目的】

- ・ 下水道事業の市民啓発、子供達への環境教育に加え、下水道技術PRの場として整備しました
- ※ 老朽化が進んだ日明浄化センター管理棟の耐震性能向上に併せて整備（H27.4オープン）
- ・ 先進の水処理・造水システム「ウォータープラザ」や、汚泥を石炭燃料の代替として活用する「汚泥燃料化センター」と併せた北九州市の『水ビジネスの国際戦略拠点』の役割も果たします。

【ビジターセンター概要】 <施設概要> 延べ床面積 2,900㎡

3F：下水道技術・製品展示コーナー、会議室
2F：ミュージアムエリア、プレゼンルーム等
1F：水質試験室

「下水道技術・製品展示コーナー」企業の技術・製品を紹介（21社）
「ミュージアムエリア」本邦の下水道技術を紹介



ビジターセンター外観



ビジターセンターオープン式典



2F ミュージアムエリア

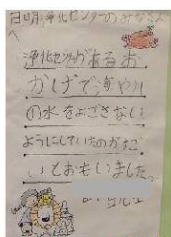


3F 技術・製品展示コーナー

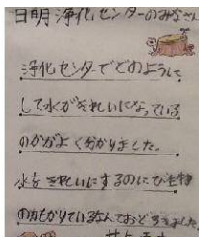
【活動内容】

- ・ 「小学生への環境教育や市民への下水道啓発の実施」「国際研修やシンポジウム・セミナー開催による技術者・研究者の技術交流の促進」「国内外の行政や企業、海外のVIPなど、来訪者への本邦下水道技術や製品の紹介」など、下水道の情報交流拠点として様々な活動を行っています。

分類	H27来館者数
小学生(社会科見学)	約 800名
一般市民	約1300名
国内(行政・企業・研究者)	約1300名
海外(行政・企業・研究者)	約 600名
合計	約4000名



見学後に子供達から寄せられた意見



H27.7カンボジア国首相来館



エントリー事例の特徴

下水処理や汚泥燃料化、海水淡水化を1度に視察することができます。また、小学生や海外からの研修生、海外要人や企業のトップセールスなど幅広い層の方々が来館しています。

そこで、下水道技術をわかりやすく、親しみやすく、興味を持って貰えるよう、工夫を重ねています！

【配布資料の充実】

外国語対応したビジターセンターのパンフレットや小学生向けの副読本を製作、活用することで、見学の充実と下水道への理解促進を図っています。

【来館者に合わせた対応者の設定】

下水道技術の理解度に応じて対応者や説明内容の変更を行っています。

※企業、海外研修生や行政関係者 → 市職員、一般来場者及び学生対応 → 委託業者

付属資料の提出	あり ・ なし（どちらかに○）
---------	-----------------